

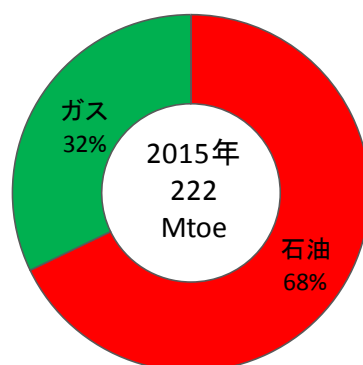
## 4-1 サウジアラビア

### 1. サマリー

#### 1. エネルギー事情

- (1) 一次エネルギー供給量 (2015年) : 222 百万 toe (日本の 0.52 倍)
- (2) 一人当たり一次エネルギー供給量 (2015年) : 7.03toe (日本の 2.08 倍)
- (3) エネルギー自給率 (2015年) : 293%
- (4) エネルギー起源 CO<sub>2</sub> 排出量 (2015年) : 531.5 百万 CO<sub>2</sub> 換算 ton (日本の 46.6%)
- (5) 一人当たりエネルギー起源 CO<sub>2</sub> 排出量 (2015年) : 16.90 CO<sub>2</sub> 換算 ton (日本の 187.8%)
- (6) エネルギー源別可採年数 (2016 年末) : 原油 59.0 年、天然ガス 77.0 年

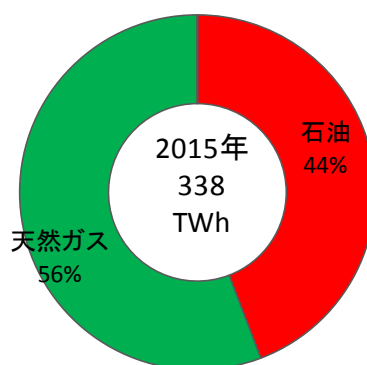
一次エネルギー供給構成 (2015 年)



Country: Saudi Arabia

(出所) World Energy Balances 2017, IEA

発電電力量構成 (2015 年)



Country: Saudi Arabia

(出所) World Energy Balances 2017, IEA

## 2. エネルギー政策のポイント

### (1) エネルギー政策担当機関

- 経済開発評議会：2015年1月に設立された、石油・天然ガスを含む経済政策全般の意思決定機関。議長は Muhammad bin-Salman 副皇太子（2017年6月に皇太子に昇格）。
- エネルギー工業鉱物資源省：石油・天然ガス等の鉱物資源、電力、鉱業に関連した政策を策定し、OPEC 総会における Saudi Arabia の代表を務める。
- Saudi Aramco 最高評議会：2015年4月に設立され、国営石油会社 Saudi Aramco の監督機能を石油鉱物資源省から継承した。議長は Muhammad bin-Salman 副皇太子（同上）。
- Saudi Aramco：石油・天然ガスの開発、生産から精製・販売までの操業を行う。近年は石油化学分野や石油製品のトレーディングにも進出している。

### (2) 基本政策

- 国家財政の多くを石油収入に依存しているため、国家財政の安定のために適切な石油価格の維持を目指している。高すぎる石油価格は需要の後退や新規供給の増加、代替エネルギーの開発促進などを引き起こすため、一貫して石油価格の安定化を志向している。
- 最近では、増加を続ける国内石油・天然ガス需要の抑制を図るための省エネ政策や代替エネルギー開発（再生可能エネルギー・原子力など）にも力を入れている。

### (3) 最近の動向

- 2017年6月、Salman 国王は甥の Muhammad bin Nayef 皇太子を解任し、息子の Muhammad bin Salman 副皇太子を皇太子に昇格させた。
- 2017年7月、閣僚評議会は従来の原発建設計画（2032年までに合計18GW）を、1.2-1.6GW級2基および小規模原子炉2基の建設へと下方修正した。
- 2017年11月、政府は Muhammad 皇太子をトップとする汚職対策の組織を立ち上げ、11人の王子、4人の現職閣僚、数十人の元閣僚・ビジネスマンらを拘束した。
- 2017年11月末のOPEC総会で、2017年1月から実施している非OPECとの減産合意（当初2017年1-6月、これを2018年3月まで延長）を、2018年末まで延長することとした。サウジアラビアは、基準量1,055.4万b/dから1,005.8万b/dへの減産を実施中。

## 3. 日本とのエネルギー分野における関係

- 我が国の最大の原油輸入先である（7,142万kl、シェア37.4%、2016年度）。
- 2016年7月、千代田化工建設は Saudi Aramco から Hasbah 海洋ガス田開発（Phase-2）に係る約\$16億の建設等の業務を受注した。完成時期は2019年末とされている。
- 2016年12月、JOGMEC は Saudi Aramco と沖縄石油基地での原油タンク貸借等に係る契約（Saudi Aramco は3年間に亘り約100万klのタンク容量を利用できる）を更新した。併せて2017年度中に約30万klの増量が確認された。

## 2. 主要エネルギー指標

COUNTRY: Saudi Arabia

(2015年)

(1) 一次エネルギー供給量		222 Mtoe
(2) 一人当たりの一次エネルギー供給		7.03 toe/人
(3) GDP当たりの一次エネルギー供給		0.33 toe/千ドル
(4) エネルギー自給率		293 %
(5) エネルギー起源CO <sub>2</sub> 排出量		531.5 百万CO <sub>2</sub> 換算ton
(6) 一人当たりエネルギー起源CO <sub>2</sub> 排出量		16.90 CO <sub>2</sub> 換算ton/人
(7) エネルギー源別構成率	石炭	0 %
	石油	68 %
	天然ガス	32 %
	原子力	0 %
	水力	0 %
	再生可能エネルギー等	0 %
(8) エネルギーの輸入依存度		-193 %
(9) 石油の輸入依存度		-284 %
(10) 輸入原油の中東依存度		- %
(11) 原油の輸出先	第1位	日本
	第2位	米国
	第3位	中国

(出所) (1)～(4)および(7)～(9) : World Energy Balances 2017, IEA

(5)～(6) : CO<sub>2</sub> Emissions from Fuel Combustion 2017, IEA

(10)～(11) : Petroleum Intelligence Weekly, Supplement, August 1, 2016